

研究集会

「箱根山噴火から10年-水蒸気噴火の前兆把握と防災対応の到達点-」プログラム

1 日目(1 月 14 日火曜日)

セッション 1：地質学的研究による熱水系構造の解明

13:00~13:30 趣旨説明 箱根火山における最近 10 年間の研究進展と課題

萬年一剛(神奈川県温泉地学研究所)

13:30~14:00 蔵王山の過去約 800 年間の熱水系が関与したマグマ水蒸気噴火について

伴雅雄(山形大学)

14:00~14:30 水蒸気噴火発生場の地質・鉱物・岩石学的特徴と噴火メカニズムとの関係性

井村匠(山形大学)

14:30~15:00 熱水変質岩と温泉水の特徴から検討した活火山内部の熱水系

高橋良(北海道立総合研究機構)

15:00~15:30 総合討論 1

司会：金幸隆(名古屋大学)

15:30~15:45 休憩

セッション 2：地球化学と測地学的な観測でとらえる流体移動

15:45~16:15 火山熱水系の構造とガス組成時間変動の関係：箱根山、草津白根山、えびの高原硫黄山の事例比較

大場武(東海大学)

16:15~16:45 地盤変動解析から推定される熱水系の流体輸送過程

成田翔平(東京科学大学)

16:45~17:15 総合討論 2

司会：寺田暁彦(東京科学大学)

2 日目(1 月 15 日水曜日)

セッション 3：最新の火山性地震観測・解析技術

9:00~9:30 機械学習を活用した火山性地震活動の監視

行竹洋平(東京大学)

9:30~10:00 光海底ケーブルを活用した海域火山の観測・監視

中野優(海洋研究開発機構)

10:00~10:30 草津白根山（湯釜付近）の 2014,及び 2018 年の火山活動活発化と Seismic background level (SBL)の時間変化

小林宰(気象庁)

10:30~10:50 総合討論 3

司会：行竹洋平(東京大学)

10:50~11:00 休憩

セッション 4：多様な観測データに基づく火山活動の定量化と情報発信

11:00~11:30 箱根火山における火山活発化指数(VUI)の導入

栗原亮(神奈川県温泉地学研究所)

11:30~12:00 気象庁の火山情報～焼岳における最近の事例紹介～

菅井明(気象庁)

12:00~13:15 昼休み

セッション 5：火山防災対応における情報の活用

13:15~13:45 活火山登山者（御嶽山・富士山）・山岳ガイド（信州登山案内人）を対象とした意識調査

秦康範(日本大学)

13:45~14:15 焼岳火山の特徴と近年の活動

及川輝樹(産業技術総合研究所)

14:15~14:35 焼岳火山の状況に関する解説情報（臨時）令和 6 年 6 月 7 日 2 2 時 1 0 分発表における長野県松本市の対応

伊東伸次(松本市危機管理部危機管理課)

14:35~14:55 焼岳の火山解説状況（臨時）発表時の焼岳火山防災協議会の対応

南沢修(長野県松本地域振興局)

14:55~15:00 休憩

15:00~16:00 総合討論 4

司会：橋本武志(北海道大学)